



たかつな

発行責任者 清水 伸行

令和4年10月24日

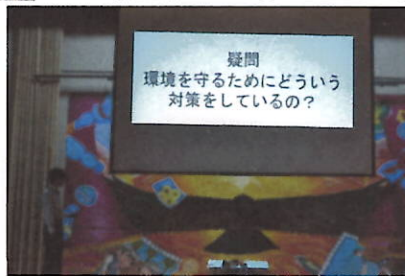
第70回 若鷹祭 謳歌 ～ 未来へはばだけ ～

* 9月30日晴れ渡る青空の下、第70回 若鷹祭が行われました。



今年もまた美術部の皆さんによる見事なステージバックが彩りを添えてくれました。

全校製作は若鷹祭ポスターを全校で分担して色塗りを行って作成しました。ブラックライトをあてると光る仕掛けになっています。



学年発表では、各学年で総合的な学習で学んだことを工夫を凝らして発表しました。



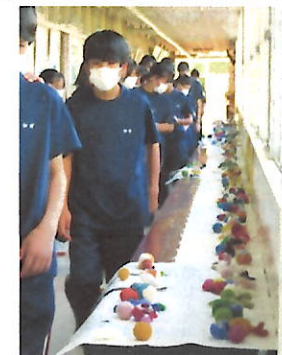
若鷹杯では「今年はみんなが楽しめる種目を」ということで、お玉リレー、サイコロリレー、選抜リレーで競いました。抜けるような青空の下、熱戦が繰り広げられ、応援の声が飛び交いました。



吹奏楽部の発表では、日頃から作り上げてきた素晴らしい演奏を聴きました。恒例のYoung Manでは全校で盛り上がりました。



生徒会企画は全校縦割りの班で、高綱中学校クイズにチャレンジしました。校舎全体を巡りながら協力して取り組みました。



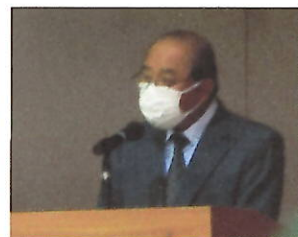
廊下には家庭科で製作した羊毛フェルトの作品が並びました。

1日開催となりましたが、実行委員長を始め生徒会役員の皆さんが綿密に準備を重ね、全校が楽しめる、充実した若鷹祭になりました。まさに、第70回を飾るにふさわしい、大変素晴らしい若鷹祭となりました。実行委員長さん、生徒会役員のみなさん、そして全校のみなさんありがとうございました。

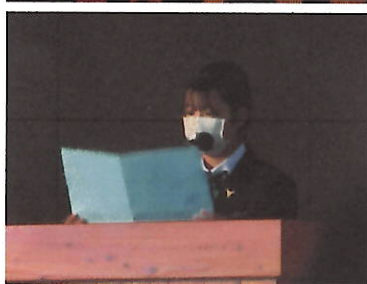
高綱中学校 開校70周年記念式典

10月1日には、松本市立高綱中学校開校70周年記念式典が行われました。

まず、高綱中学校同窓会長の津田武敏様にご挨拶をいただきました。津田様には、70周年記念事業実行委員長として昨年度から記念事業全般にわたって関わっていただきました。学校の意向を尊重しながら的確で温かなご助言をいただき、この日を迎えることができました。式典でも高綱中の歴史に触れながら丁寧にご挨拶をしてくださいました。本当に感謝です。



式典の前半は「高綱中学校のあゆみ」として、生徒会誌「高綱」に残された生徒の作文から、開校当時と火災の後の和田校での生活、新校舎への引っ越しを振り返りました。作文を読んでもくれたのは各学年から選ばれた6人の生徒の皆さんです。作文に合わせて、当時の写真がスクリーンに映し出されました。その当時の学校生活が、生き生きとよみがえりました。



式典の後半は「小さくても叶えた世界への挑戦 ～目標を見つけ自分を信じることの大切さ～」と題して、バレーボール元日本代表の浅野博亮さんと元Vリーガーの山本健吾さんをお迎えしての講演会でした。まず、高綱中出身の現役Vリーガーの



柳沢広平さんが送ってくれたビデオメッセージを見ました。それに続いてハイキューのテーマソングが



流れる中、講師の先生お二人が登場。最初に高綱中バレー部3年とのミニゲームを行いました。6人对2人の対決でしたが、素晴らしい熱戦に全校がわきました。続く講演では、クイズを交えたり、パワーポイントを使ったりしながら、お二人それぞれの目標の見つけ方の違いから、夢の叶え方や自分を成長させていくために大切なことをお話いただきました。最後には質問コーナーもあり、生徒の皆さんからの質問に答えられました。講師の先生方の誠実さが感じられる講演会でした。ハイキューのエンディングテーマの中、駆け足で会場を後にしたお二人。爽やかな印象を残して、70周年記念講演会は幕を閉じました。



* 生徒の感想から *

○どの作文も同じくらいの年齢の人が書いたとは思えない内容で、火事の時のつらさや再び通うことになった旧和田小学校との別れ、新校舎への喜びなど感情がこもっていて少し泣きそうになりました。高綱中学校の昔を知っている人はどんどん減っていきってしまうので、そのとき感じた気持ちや作文に残され、何十年か後に再びよみがえるといのは、すごいことだなと思ったし、火事ことはこれからも語り継いでほしいなと思いました。

○高綱中学校の70周年記念式典に来てくれてありがとうございました。バレーの実演のパスやゲームはとてすごかったです。特にゲームは相手は6人なのに2人でつないでいてすごいと思いました。その後の浅野先生と山本先生の講演の大きな夢でも小さい夢でも夢や目標を持つことは大事だということを感じました。